

Title	経済学関係文献目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1958
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.51, No.8 (1958. 8) ,p.743(89)- 745(91)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	経済学関係文献目録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19580801-0089

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

検討を軽んじないこの歴史家の批判的方法、批判的精神があるからであろう。従って「何故この事実がそうあらねばならなかったか」という歴史学の根本命題について、深く事実の只中に入りこみ、その事実の内部の関連を把握する科学的な態度の重大さを感じる次第である。しかし著者自身がまぎでいっているように、本書は「疑問の集積」であり、決して完成された模範回答ではない。そこで最後に現代史の専門家ではない私がこれらの問題提起から更に感じた問題点を指摘してみたい。成程著者は事実を尊重し、それを基にして正しい歴史を叙述しようとし、一応の成功をみていると思える。しかし「何故この事実がそうあらねばならなかったか」という歴史法則を認識する角度からみるとなお不十分な点、未解決な点が存在するのではないか。勿論これは本書の構成による点もある。すなわち個々の問題が共通の問題意識に貫ぬかれてはいない。独立して提出されているからである。しかし例えば大正デモクラシーにしてもこの時期に何故このような民主主義的な運動が日本でひきおこされたのか、その客観的な条件は一体何であるかといった面への追求がもっと必要であるように思える。これは勿論日本における資本主義の発展とそれに伴う政治的社会的変化をその内部的な関連とその運動として把握するところから出発することになるが。そしてこのような客観的な側面の分析が十分、正しく行われる時著者の極めてすぐれた各個人、各階級の主体的側面の分析が確認され、

(寺尾 誠)

「何故そうであったか」という読者の疑問に答えることが出来るのではないか。原敬の評価にしても、確かに旧来の藩閥政治家である山県達と異なる側面を見出しうるが、著者自身のいう山県達との妥協的側面が何故あったのかという点を明らかにしなくてはならない。またこのような両面をもつ原を「ブルジョア政治家」と規定するならば、日本における当時のブルジョアジーの位置づけ、その利害関係を事実に基づき立ちいつてつかみとることによりこの規定に対する反論に答えなくてはならない。原の保守性がこのような反論の根拠となつてはいるが、この保守性が「ブルジョア政治家」としての彼にとって必然であったか、この問題の争点となるのである。このような点を指摘してみると、現代史を含め歴史学の今後の課題は、著者のいうように、「事実を尊重する」という態度を堅持すると共に、その為にこそ、事実を埋没せず事実を正しくつかむという科学的な態度を具体的な実証の内に結実させるところにあるといえよう。これは「事実をいかにつかむか」という問題に集約されるが、それと共に、経済的な諸関係、政治的な諸関係、その他の社会的諸関係、それらの相互の関連と内部のつながり、歴史における法則の理解、必然と偶然の問題等の様々な問題をいかに正しく発展させうるにかにかかっている。(日本評論新社 三九〇円)

経済学関係文献目録

(昭和三十三年五月刊)

経済理論・思想・学説史

- *新版経済学原理 土方成美著 A5 三七八頁 四六〇円 (中央経済社)
- *価値形態論 中野正著 A5 四七四頁 七五〇円 (日本評論新社)
- *現代マルクス主義 2 マルクス経済学の展開 古在由重・井汲卓一・村田陽一・長洲一二編 A5 二四八頁 三〇〇円 (大月書店)
- *経済学発達史——古代より現代まで——阿部源一著 B6 三七五頁 三八〇円 (白桃書房)
- *社会主義経済学〈経済学入門全書〉 副島種典著 B6 二二六頁 二八〇円 (東洋経済新報社)
- *やさしい経済学 7 都留重人・高橋長太郎編 B6 三二六頁 二八〇円 (勁草書房)
- *自由と計画の経済学 ショーシ・N・ハル

経済学関係文献目録

△著 金子精次・丹羽春喜・張光夫・高田鉄雄訳 A5 四三八頁 六〇〇円 (新元社)

- *需要理論〈岩波現代叢書〉 J・R・ヒックス著 早坂忠・村上泰亮訳 B6 二五四頁 二七〇円 (岩波書店)
- *マルクス経済学の展開 ロンド・L・ミーク著 山田秀雄・水田洋訳 B6 一七一頁 二八〇円 (紀伊国屋書店)
- *重農主義分析 横山正彦著 A5 三一六頁 五八〇円 (岩波書店)
- *資本論研究 向坂逸郎・宇野弘蔵編 B6 四八一頁 五〇〇円 (至誠堂)
- *マルクス経済学の創造的発展 堀江忠男著 A5 三九九頁 七八〇円 (至誠堂)
- *経済政策の対象と方法——日本経済政策学会年報Ⅵ—— 一九五八 日本経済政策学会編 A5 一五六頁 三〇〇円 (勁草書房)

統計・経済数学

- *経営数学 4 (時系列・リニヤープログラム) ミング・ゲームの理論・品質管理・理論経済学) 竹内清・渡辺浩・関恒義・片山三郎・中村清一著 A5 三八八頁 四五〇円 (みすず書房)

歴史

- *日本経済統計集——明治・大正・昭和——日本統計研究所編 B5 四〇七頁 二八〇〇円 (日本評論新社)
- *現代経済理論のための数学入門 ベクトル・行列・ゲームの理論 岡本哲治・福田献一著 A5 二四四頁 五五〇円 (日本評論新社)
- *古墳とその時代 (古代史研究第4集) 古代史懇話会編 A5 二三五頁 四五〇円 (朝倉書店)
- *源頼朝〈岩波新書〉 永原慶二著 B40 二二二頁 一〇〇円 (岩波書店)
- *源頼朝〈アテネ新書〉 安田元久著 B6 二二二頁 二五〇円 (弘文堂)
- *大隈重信 (三代宰相列伝) 渡辺幾治郎著 B40 二五〇頁 二〇〇円 (時事通信社)
- *世界史大系 2 文明の発生 誠文堂新光社編 B5 三九七頁 一四〇〇円 (誠文堂新光社)
- *日本考古学年報 7 昭和二十九年年度 日本考古学会編 B5 二二四頁 五五〇円 (誠文堂新光社)
- *日本史の人物 松本新八郎著 B6 四〇八頁 四八〇円 (未来社)

八九 (七四三)

農業・林業・水産業

*稲作経営の展開構造 金沢夏樹著 A5 三一六頁 四八〇円 (東京大学出版会)

労働・社会政策

*社会保障 <岩波新書> 坂寄俊雄著 B40 二二二頁 一〇〇円 (岩波書店)

*社会保障 <社会科学基礎講座9> 平田隆夫著 A5 二九六頁 三八〇円 (評論社)

*賃金体系の考え方・たて方 実例を中心として 野田正雄著 B6 三八四頁 四一〇円 (学陽書房)

*オートメーションと労働運動 小林勇編 B6 二三八頁 二六〇円 (合同出版社)

*ヨーロッパ労働運動の悲劇 1 (岩波現代叢書) A・シュトゥルムタル著 神川信彦・神谷不二訳 B6 二〇九頁 二〇〇円 (岩波書店)

*労使協議制 <現代生産性叢書> 中山伊知郎著 B6 一〇四頁 一三〇円 (日本生産性本部)

*労働関係判例集 昭和三十三年版 労働省 労政局労働法規課編 A5 七〇四頁 七

B5 二二二頁 三〇〇円 (日本生産性本部)

*産業構造の基礎理論 E・A・G・ロビンソン著 黒松巖訳 B6 二二七頁 二八〇円 (東洋経済新報社)

*企業診断と効果実例 商業編——こうして企業は合理化された—— 中小企業診断協会編 B6 二九七頁 四〇〇円 (中小企業診断協会)

*オートメーション経済学——経営自動化の理論と実際—— 南沢宣郎著 B5 一九〇頁 五八〇円 (日刊工業新聞社)

*独占禁止法——ケースブックビジネス1—— 矢沢博編 A5 二二九頁 四〇〇円 (有信堂)

*経営立地 <経営管理金書> 米花稔著 A5 三二五頁 三八〇円 (日本経済新聞社)

*会計原則コンメンタール 木村重義著 A5 三九〇頁 五六〇円 (中央経済社)

*近代株式会社と私有財産 <現代経済学名著選集5> A・A・パリー、G・C・ミーンズ著 北島忠男訳 A5 五〇六頁 八〇〇円 (文雅堂書店)

*商学研究 2 一橋大学研究年報 一橋大学一橋学会編 A5 三一頁 四〇〇円 (勁草書房)

*大化改新と鎌倉幕府の成立 石井良助著 A5 二八二頁 六五〇円 (創文社)

*御触書宝曆集成 高柳真三・石井良助編 A5 五八三頁 一三〇〇円 (岩波書店)

*西洋経済史 大淵彰三著 A5 三〇八頁 三八〇円 (世界書院)

*ヨーロッパ経済史 <経済学入門全書> 泰玄竜著 B6 二二七頁 二八〇円 (東洋経済新報社)

*地租改正の研究 下野弘蔵編 A5 二五四頁 四〇〇円 (東京大学出版会)

財政・金融・保険・証券

*不況に対決する産業と産業金融 昭和三十三年度下期版 <産業金融調査報告> 産業金融調査室編 B5 三四七頁 一二〇〇円 (金融財政事情研究会)

商工業・経営・会計

*商品流通と協同組合の機能 協同組合研究会編 A5 二八〇頁 三五〇円 (お茶の水書房)

*現代会計学原理 高橋芳蔵著 A5 三七頁 四八〇円 (森山書店)

*生産性の理論と実際 7 日本生産性本部編

〇〇円 (労働法令協会)

日本経済

*日本経済と地域経済——付・近畿地域産業連関表一四葉 関西経済連合会編 A5 二四一頁 二〇〇円 (創文社)

*日本帝国主義史 1 日本帝国主義の形成 一八八五—一九一四 小山弘健・浅田光輝著 B6 二八四頁 三五〇円 (青木書店)

*日本資本主義論争批判 1 資本蓄積と市場の理論 豊田四郎著 A5 三五九頁 五五〇円 (東洋経済新報社)

*中小企業と独占資本——中小企業団体組織法をめぐって—— <三一新書> 島崎照雄著 B40 二四五頁 一七〇円 (三一書房)

*日本の中小企業——問題の解明と展望—— 日本生産性本部中小企業部編 B6 二四四頁 三二〇円 (日本生産性本部)

*日本資本主義の諸問題 向坂逸郎著 A5 二九三頁 五〇〇円 (至誠堂)

世界経済・貿易・海外事情

*東南アジアの経済 3 インドナ三国 ヴ

経済学関係文献目録

房)

*佐久間ダム——近代技術の社会的影響—— 日本文科学会編 B5 六三五頁 二二〇〇円 (東京大学出版会)

*中近東の内幕——ナセルへの道—— ウォルター・Z・ラッカー著 武田信一・二宮信親訳 B6 三一〇頁 三九〇円 (角川書店)

*マンハイム研究 阿閉吉男著 A5 二九〇頁 四〇〇円 (勁草書房)

*社会学入門——史的唯物論による基礎づけ—— 本田喜代治著 B6 三〇八頁 二六〇円 (培風館)

年鑑・辞典

*世界現代史事典 <合同新書> 小椋広勝・岡倉古志郎編 B40 二二二頁 二〇〇円 (合同出版社)

*世界貿易事典 1 東南アジア編 1 海外貿易振興会編 A5 三六七頁 四八〇円 (日本経済新聞社)

*社会学辞典 福武直・日高六郎・高橋徹編 A5 一〇六〇頁 一六〇〇円 (有斐閣)